

とうじょうじんぶつ
登場人物

オランダ人：ゆうれい船にのって、海をさまよう船乗り
ダーラント：ノルウェーの船の船長
ゼンタ：ダーラントの娘。オランダ人を夢想している
エリック：ゼンタに思いを寄せる青年
マリー：ゼンタを育てたおばさん
舵手：ダーラントの船の船員

《さまよえるオランダ人》のあらすじ

嵐から避難していたダーラントの船のそばに、オランダ人の乗ったゆうれい船があらわれます。ダーラントがオランダ人に話しかけると、オランダ人は、「お前（=ダーラント）の娘と結婚させてくれるなら、おれの宝物をすべてあげる」といいます。よろこんだダーラントは、オランダ人を自分の家に招待します。

ダーラントの娘ゼンタは、物語のなかで知ったオランダ人のことをいつも考えている、不思議な女性です。そこに父ダーラントがオランダ人をつれて、帰ってきました。ゼンタにはエリックという仲良しの友達がいたのですが、ゼンタとオランダ人は出会った瞬間、恋に落ちてしまいました。

あせったエリックは、ゼンタに愛を告白します。ところが、運悪く、その会話をオランダ人が聞いてしまいました！絶望したオランダ人は、家を飛び出し、船に乗って、ふたたび海に出ようとします。それを追いかけるゼンタ……。さて、二人はどうなるのでしょうか？

ワーグナーとバイロイト音楽祭

リヒャルト・ワーグナーは1813年にドイツで生まれた作曲家です。かつてオペラといえば、イタリア語で歌うものがほとんどでしたが、ワーグナーはドイツ語でも歌えることを示して、オペラの歴史を変えました。また、当時、オペラは娯楽と思われていましたが、ワーグナーはオペラを芸術にまで高めようとした。

ワーグナーは、警察につかまりそうになったり、ひとから借りたお金を返さなかったり、たくさんの女性と恋をしたり、いろいろ問題も起こしましたが、ものすごく長いオペラの音楽と

ものがたり　じぶん　か　てんさい　てんさいのう　も
物語をすべて自分で書くなど、天才的な才能を持ったひとでした。

ねん　おんがくさい　おんがく　まつり
ドイツでは、1876年にワーグナーがはじめたバイロイト音楽祭という音楽のお祭りが、い
つづ　あつ　こんかい　さくひん
まも続いていて、世界中からワーグナーのファンがたくさん集まります。今回の作品も、
その音楽祭で上演されたものです。